

安倍政権打倒へ 本気の共闘必ず

新潟市で日本共産党演説会

小池書記局長が訴え

来年の参院選、統一地方選での躍進をめざし日本共産党新潟県委員会会は14日、小池晃書記局長を迎えた演説会を県民会館(新潟市)で開き、1500人が参加しました。

来賓あいさつでは、6月の県知事選で市民と野党の共闘候補として大健闘した池田千賀子氏や野党国会議員、市民が、安倍政権打倒へ共闘でたたかい続けようと熱い連帯を表

明。小池氏は「新潟は市民と野党の共闘のシンボルの地です、共闘勝利と共産党躍進で自公を少数に追い込もう」と訴え、1、2階席いっぱい聴衆の盛大な拍手と歓声で熱気に包まれました。



小池書記局長の訴えに聞き入る会場いっぱいの参加者＝14日、新潟市

池田氏とともに、森ゆうこ参院議員(自由党)、菊田真紀子衆院議員(無所属)、市民連合@新潟の磯貝潤子共同代表が「私たちは「私たちが同じ仲間」「力を合わせ、あきらめずたたかおう」とあいさつ。池田氏は知事選での共産党の支援に感謝し、「共闘でたたかった経験を大事にしてこれか

共闘仲間から熱い連帯

池田千賀子氏、森議員 菊田議員、磯貝代表ら訴え

ら県政を監視する」と語りました。

日本共産党の井上さとし参院議員と県議選のしづや明治、たけだ勝利、遠藤れい子、ひららぎ哲也の4候補が登壇。井上氏は、核兵器禁止条約に署名する日本政府の実現が「被爆2世として」の一番の決意です。いま南北、米朝首脳会談で平和の

激動が大きく広がっている」と力を込めました。

改ざん、隠ぺい、虚偽答弁などの問題にフタをして悪法強行に走る安倍政権に対し、「真相の徹底究明、責任追及を行い、内閣総辞職に追い込もう」と呼びかけました。

小池氏は冒頭、西日本豪雨災害で自身が視察した被災地の深刻な状況を語り、救命・救援に全力をあげると表明。避難指示が出ている中で安倍晋三首相や閣僚、自民党幹部、議員による宴会、カジノ審議優先の姿勢を批

判し、「被災者支援にこそ全力を挙げるべきだ」と述べました。

井上議員、しづや、たけだ、遠藤、ひららぎ、県議候補が決意



参加者と連帯する(左から)磯貝、菊田、池田、小池、井上、しづや、たけだ、遠藤、ひららぎの各氏

「本気の共闘を実現すれば安倍政権打倒に迫れる。知事選ではそれを証明した」と語り、「国会論戦など、あらゆる場面で共産党抜きでは共闘は成り立たない状況です。そして、米国言いなり、大企業中心の政治をたたく綱領をもつこの党を強く大きくしてこそ政治は変えられます」と力説し、盛大な拍手と歓声で沸き起こりました。



新潟県議会が6月27日日開会し、

自公が支持して当選した花角英世知事が所信表明を行い、各党の質疑が行われました。

質疑では、花角氏が知事選でかかげた公約をどのように具体化するのかが問われました。質問に立った日本共産党の渋谷明治県議(新潟市東区)は、米山前知事のもとで始まった原発事故の3つの検証(事故原因の検証、健康と生活への影響の検証、安全な避難方法の検証)について、公約をしっかりと守って徹底する必要があるのではないかと、知事にたずねました。

花角知事は、「県民の命とくらしを守る」が(県政の)第一であり、3つの検証を引き続き徹底的に進めてまいります」と

答弁。

渋谷県議はさらに、知事は「私が在任している間には原発は動かない」と発言する一方で、自身の任期中に再稼働を認める可能性について「当然ありうる」と答えたとの報道があるが、任期中に再稼働はありうるのか、とたずねました。

花角知事は「3つの検証の結果が示されない限り、原発再稼働の議論を始めることはできない」という姿勢は堅持する」と述べ、重ねて「検証の結果については、広く県民に情報共有するとともに、結論の全体像を県民にお示し、県民に信を問うことも含め、県民の意思を確認するプロセスが必要である」と答弁。

県民の信を問わない形での再稼働は

行わないと声明しました。

渋谷県議は、国の第5次エネルギー基本計画案が原発をひきつづき「重要なベースロード電源」と位置付け、2030年度時点での原発比率を20〜22%としていること、またこの計画案について知事が「理解している」「当面は原発が必要」と発言していたことを取り上げて、柏崎刈羽原発の再稼働なしには実現しない計画だと指摘しました。

花角知事は、同計画案については「承知している」「私が責任を負うわけではない。(柏崎刈羽原発の再稼働とは)無関係だ」と答弁し、県の判断は国のエネルギー基本計画にとらわれるものではないという立場を表明しました。

花角知事は、同計画案については「承知している」「私が責任を負うわけではない。(柏崎刈羽原発の再稼働とは)無関係だ」と答弁し、県の判断は国のエネルギー基本計画にとらわれるものではないという立場を表明しました。

今度は新潟から恩返し

西日本豪雨災害で救援募金

日本共産党新潟県委員会と新潟地区委員会は11日、新潟市で西日本の豪雨災害の被災地への街頭救援募金を行いました。

県委員会の西澤博政策委員長は、西日本全域で大変な被害が出ており、「着の身着のまま4日間入浴していない、車が水没して通院できないなど、住民生活に大きな支障が出ている」と話し、救援募金を訴えました。



救援募金の呼びかけに応じる市民=11日、新潟駅前

武田勝利県議候補は、新潟は2004年7月の三条市7・13水害や、2011年7月の新潟・福島豪雨水害など、度々水害に遭ってきたと述べ、「泥出しや家屋の片づけなど、本当に全国からの支援をもらった。今度は新潟の私たちが、全国への恩返しをしよう」と訴えました。

子どもたちに平和な未来を

県母親大会に750人

小千谷市で16日、第64回新潟県母親大会が開かれ、750人が参加しました。

実行委員会を代表して小東友子・県新婦人会長があいさつ。母親大会は1954年、アメリカによるビキニ水爆実験に全国の母親たちが抗議する中で翌55年に始まったことを紹介し、「今、憲法9条が危ない。安倍9条改憲NO!3000万署名を集めきって、命と暮らし、平和を脅かす政治を終わらせ、子どもたちに平和な未来を手渡ししよう」と訴えました。



9条を守る決意にあふれた参加者

午前分科会では、映画「標的の島風かた」の上映や、憲法9条、原発、介護・医療などのテーマで、10の会場に分かれ、熱心な討論が行われました。

参加者は「松元ヒロさんの講演で、憲法9条を変えさせてはいけないと強く思いました。活動できることをやります」と話していました。

新潟県農民連事務局長

鈴木 亮さん(45)

②

「日本の農業と食料を守るために、農家に寄り添い、消費者とも共同を強めていきたい」。新潟県農民連の事務局長に就任してから15年経ちます。今も変わらない気持ちで活動しています。

8日に阿賀野市で行われた新婦人との共催による「ブルーベリー狩り」には、親子連れが大勢参加。産直活動している農民連組合員の協力で、ブルーベリー狩りなどをきっかけに農業と食の問題に関して、多くの農協が自主

心をもってもらおうと、いろいろな取り組みをしています。知事選では、市民と野党の共同候補・池田千賀子氏を勝利させようと、県内の農協に支援要請に回りました。全日農(全日本農民組合連合会)県連の関係者と初めて共催で集会も開きました。要請では、どの農協からも安倍政権の農政への批判や怒りが出され、自民党が支援する花角英世氏には疑問が出ました。多くの農協が自主



農家に寄り添い活動する鈴木事務局長

投票でどちらの候補も推薦せず、池田氏を推薦した農協が8つもありません。「支援要請に回った実感では池田氏が勝利すると思ったが、残念な結果だった。安倍農政に痛めつけられてきた怒りと、農協の変化を実感した。米山前知事が敷い

TPP11発効許さない運動を

安倍政権打倒の共同さらに

事務局長の要請を受けるとき、すんなり了承しました。自分は農家ではないが、子どものころから父親の実家・秋田の田畑で遊びまわったり、食べること

に興味をもっていたからです。でも農民連の活動のすごさを知ったのは、行政との交渉に初めて参加し、農民連組合員が当局に農業を守る正論と農家の怒り

をぶつける姿を目にしたとき、「農民連のよくなたたかう農民組織がどうしても必要だ」と思いました。事務局の活動の合間に田植えの手伝いや産直活動もしていて、「農家ではなくても、気持ちの上では農民のつもりだ」と言います。

来年の参院選を見据え、「TPP反対の国民的共同が広がり、新潟県では市民と野党の共同が深化している。TPP11の発効を許さない共同の運動を強め、あらゆる分野で暴走を繰り返す安倍政権を倒すため、市民と野党の共同をさらに強めていきたい」



ブルーベリー狩りする親子連れ=8日、阿賀野市

た所得補償制度や種子法条例を守らせ、花角県政をきちんと監視していきたい」と強調します。安倍政権が、環太平洋連携協定(TPP)から離脱したアメリカを除く、11カ国による新協定(TPP11)の批准承認と関連法の成

立を強行しました。「まともな審議も説明もなく強行したのは許されぬ。アメリカが抜けても農業への打撃は変わらない」と語気を強めます。農民連事務局に勤める前は、アカペラグループ一員として演奏活動していました。

社会医療法人 新潟勤労者医療協会

理事長・高橋常彦	〒956-0814	新潟市秋葉区東金沢1459-1	TEL.0250(24)5170
下越病院	〒956-0814	新潟市秋葉区東金沢1459-1	TEL.0250-22-4711
舟江診療所	〒951-8011	新潟市中央区入船町3-3629-1	TEL.025-229-3588
介護老人保健施設入舟	〒951-8011	新潟市中央区入船町3-3629-1	TEL.025-229-3588
沼垂診療所	〒950-0075	新潟市中央区沼垂東6-4-12	TEL.025-244-0116
坂井輪診療所	〒950-2054	新潟市西区寺尾東3-8-35	TEL.025-269-6630
おぎの里	〒956-0012	新潟市秋葉区荻野町3-8	TEL.0250-25-3071
ときわ診療所	〒950-0036	新潟市東区空港西1-15-17	TEL.025-274-2714
かえつクリニック	〒956-0836	新潟市秋葉区田家2-1-30	TEL.0250-22-5888
かえつ歯科	〒956-0831	新潟市秋葉区中沢町1-25	TEL.0250-25-5510

高橋シズ

〈夏休み〉貧困児童がふえているという。子どもたちは、平等に遊んで、食べて、学んで立派な大人になってほしい。

地方政治と住民運動の専門誌

議会と自治体

月刊

「新潟県100の指標」平成28年度版より (県発行)

75 薬剤師数 (人口10万人当たり)

順位	都道府県	薬剤師数 人
1	徳島	210.9
2	東海	207.1
3	兵庫	198.2
4	奈良	193.8
5	山形	187.7
6	香川	187.0
7	高知	186.1
8	福井	185.6
9	大分	182.8
10	佐賀	178.7
11	長門	178.4
12	全国平均	170.6
13	石川	169.3
14	富山	168.5
15	山梨	166.2
16	長野	165.2
17	岐阜	165.0
18	和歌山	164.3
19	熊谷	163.9
20	北海道	163.6
21	秋田	162.7
22	北陸	159.8
23	鳥取	159.7
24	茨城	158.8
25	静岡	158.5
25	愛媛	158.5
27	大分	158.4
28	大分	158.3
29	滋賀	158.0
29	山梨	158.0
31	島根	156.0
32	富山	154.1
33	富山	153.3
34	岐阜	151.8
35	新潟	151.6
36	新潟	151.1
37	愛媛	149.1
38	群馬	148.5
39	群馬	146.6
40	三重	145.9
41	三重	144.8
42	奈良	143.8
43	山形	142.2
44	山形	141.4
45	岩手	140.5
46	岩手	133.8
47	青森	131.0

項目	新潟県	全国
薬剤師数(人口10万人当たり)	151.1	170.0
厚生労働省「衛生行政報告例」 [平成27年3月31日]	48.7	45.5
1世帯当たり年間(医薬品支出 金額(二人以上の世帯) [総務省「家計調査年報(家計収 支額)』平成27年])	28,609 (17位)	28,754

* 順位は数値の大きい方からつけています。

74 看護師数 (人口10万人当たり) ★

順位	都道府県	看護師数 人
1	高知	1,314.4
2	鹿角	1,215.6
3	佐賀	1,200.0
4	熊本	1,189.1
5	山形	1,181.7
6	山形	1,170.8
7	山形	1,154.8
8	山形	1,151.3
9	山形	1,132.0
10	山形	1,107.8
11	山形	1,104.5
12	山形	1,104.2
13	山形	1,101.5
14	山形	1,087.5
15	山形	1,073.5
16	山形	1,072.3
17	山形	1,071.8
18	山形	1,069.1
19	山形	1,007.6
20	山形	1,007.3
21	山形	1,005.9
22	山形	991.7
23	山形	969.1
24	山形	965.5
25	山形	958.5
26	山形	951.9
27	山形	943.9
28	山形	929.1
29	山形	906.5
30	山形	899.4
31	山形	873.2
32	山形	860.4
33	山形	855.2
34	山形	838.1
35	山形	830.6
36	山形	821.8
37	山形	817.0
38	山形	797.5
39	山形	788.8
40	山形	787.4
41	山形	778.3
42	山形	758.5
43	山形	727.3
44	山形	724.5
45	山形	674.0
46	山形	672.4
47	山形	625.1
48	山形	568.9

項目	新潟県	全国
就業准看護師数★ (人口10万人当たり)	295.4 (27位)	267.7
就業保健師数★ (人口10万人当たり)	51.8 (16位)	38.1
就業助産師数★ (人口10万人当たり)	34.2 (5位)	26.7

* 順位は数値の大きい方からつけています。★は新潟県「夢おこし政策プラン」に関連する指標です。

資料出所:厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査」
調査時点:平成26年12月31日
調査周期:2年毎
(注)従業地別にみた薬局・医療施設に従事している薬剤師数である。

資料出所:厚生労働省「衛生行政報告例」
調査時点:平成26年12月31日
調査周期:2年毎
注1)就業地による看護師の数である。
2)厚生労働省が平成23年11月4日に数値を訂正したため、注意が必要である。
3)夢おこし政策プラン指標「人口10万人当たり就業看護師員数(常勤換算)」は当員掲載の4指標を合計し、常勤換算したものである。